

# 2月の中小企業月次景況調査(茨城県)

[令和3年2月末現在]

令和3年3月12日  
茨城県中小企業団体中央会

全体では、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIすべてで改善した。

業種別に見ると、製造業では、「売上高」は変化がなかったが、「景況」「収益状況」は改善した。非製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」は、全てで改善した。

2月23日に県独自の緊急事態宣言が解除されたこと等により「景況」の数値が製造業・非製造業ともに大幅に回復したが、「売上高」「収益状況」の改善は鈍く、依然厳しい状況が続いている。

## 景況DI

製造業は、前月比19.2ポイント改善の-38.5ポイント、非製造業は、前月比20.8ポイント改善の-25.0ポイント、全体では、前月比20.0ポイント改善の-32.0ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比で変化なしの-34.6ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント改善の-25.0ポイント、全体では、前月比4.0ポイント改善の-30.0ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比7.7ポイント改善の-50.0ポイント、非製造業は、前月比4.2ポイント改善の-37.5ポイント、全体では、前月比6.0ポイント改善の-44.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
令和3年2月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	パン	コロナ禍の中、有効求人倍率が低下しているため仕事がないとの話も聞かすが、我々の業界では相変わらず人手不足は変わらない。求人募集をしても応募がなく、何ヶ月も欠員状態である。入社しても一月足らずで辞めるとの声が多い。この人手不足は学校給食を担う学校調理員・給食センター等の他の業種も同様。学校給食は担い手がどんどん減少している。
	味噌	
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 1月の清酒課税移出数量は、新型コロナウイルス第3波の影響で前年同月比79.9%と大幅に落ち込んだ。本格焼酎についてはさらに厳しく、前年同月比54.9%であった。2月は緊急事態宣言発令により一層落ちると思われる。清酒の輸出については、新型コロナウイルス感染拡大の影響による落ち込みから戻ってきており、1月の輸出数量（全国ベース）は前年同月比134.1%と好調である。新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきている香港・中国・台湾・シンガポールの伸びが顕著である。国別輸出の金額ベースでは香港が米国を抜いて首位となった。 ○県内当業界について 11月以降の新型コロナウイルス第3波により茨城の酒造業界の業況は厳しくなっている。首都圏及び県独自の緊急事態宣言により飲食店の売上が大幅に減少。家飲みも大手メーカーの安価なパック酒に押されている。2割以上の売上減少が続くようであれば、今季・来季の酒造りにも影響が生じており、経営存続にも懸念が生じる状況である。
	納豆	1都3県の緊急事態宣言により梅まつりの来場者も少なく、土産品の納豆の販売は大変厳しくなっている。また、一般スーパー向けも昨年は大変好調であったが、今年は例年並みとなりそれなりに厳しさが続いている。
	菓子	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、抗体がどれだけの人にできるかにかかっている。
	漬物	売上減少が大きくなっている。
繊維工業	織物	販売会等のイベントができないので、取引条件等が悪化傾向。
	袋物	例年と比較して各社とも仕事量が少ない。3月も同様の様子。早く経済が動いてほしい。
	衣服	
木材・木製品	製材	・構造材、羽柄材とも全体的に停滞した動きとなった。 ・原木については、スギ・ヒノキとも4m小径木が高値。 ・プレカット工場の稼働状況は、低調な動きとなった。 ・輸入材は、構造材、羽柄材の荷動きは順調に推移した。
	県北地区プレカット	品不足により材料の入荷が遅れ気味。加工数量は前年同月比20%減少。3月加工予定はまだまだ少ない。
	県央地区プレカット	2月は受注が大幅に落ち込んだ。受注の落ち込みは想定していたので、加工が空く時間に生産ラインのメンテナンスに時間をとることができた。3月は2月より加工予定は埋まってきているが、月末はまだ加工予定に空きがある。
紙・紙加工品	段ボール	大手は量的には前年同月を上回った所が多かった。中小では量的には戻りつつあるが、平均すると前年同月比5~10%減少している。2月は関東エリアで3社ほど大手に吸収された所があり。今後は我慢しきれず、倒産若しくは吸収される所が増えそうである。
印刷	総合	長引くコロナ禍の中で、イベント関係を中心に各種印刷物の需要が低迷し、各社とも資金繰りに窮している。毎年この時期に組合員企業の従業員数等の基本データ調査を行っているが、雇用人員の減少が目立つ事業所がみられた。新型コロナウイルスの収束の見えない中では、業界全体の不安感は大い。
化学・ゴム	自動車部品	

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和3年2月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	窯業・土石製品	県央地区石材	
		県西地区石材	
		コンクリート製品	
		焼物	軒並み催事やイベント等が中止となり、期待していた売上も望めず活気ある人の流れも作れなかった。しかし、落ち込んでもいられないので、笠間の陶炎祭が開催できるよう頑張っていきたい。
		生コンクリート	
	鉄鋼・金属	鍍金	受注量は、前年同月と同程度であった。自動車部品については月の後半から減少傾向であった。建築部品関係については、大きな減少は無かった。機械関係では、半導体製造置関係の部品がとて忙しく、3月も継続しそうである。業界の業況については、それほど忙しくなく比較的落ち着いている。金属材料の価格に大きな変動は無かったが、貴金属は高値で推移している。その他工業薬品については大きな変動はない。
	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比較してすべてで増加となった。主要得意先の小型トラクター、建設機械販売が好調に推移。当団地内企業の受注状況も月を追うごとに増加。全社とも前年同月を大幅に上回る売上を確保した。今後は、従業員を確保する等、生産増産体制に対応していく予定。
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	全体の生産高は平均すると前年同月比15%程度減少。低位で推移しているものの、一部例年並みに戻った組合員もある。
		輸送車両	
	その他の製造業		
非 製 造 業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比3.3%減少。市場全体の荷動きは、先月と同様に仲卸業者・一般買受人は販売に苦慮している。県独自の緊急事態宣言が解除になり、今後の回復を期待している。
		県南地区卸	全体的には売上高は増加しつつある。
		食品卸	野菜果実合計で前年同月比94%の取扱高となった。1日の買上平均はほとんど変わらなかったため、うるう年の関係で前年より営業日が1日少なかった影響だと思われる。キャベツや白菜、レタス等の葉物野菜で単価の低下がみられたが、ニンジンやジャガイモに関しては出回りが悪く単価が上昇。結果、野菜は総合的に前年並みの単価で推移した。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は、前年同月比では横ばいを維持し、前月比では12%増加。前月比での増加は年度末が近く、土木関連の公共工事が増加したことや天候に恵まれたことが要因。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
令和3年2月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	小売業	
	県北地区共同店舗	前年同月比で売上78.9%、客数92.3%、前年同月の売上を確保した店舗は26.6%であった。緊急事態宣言下で、厳しい結果となった。
	県央地区共同店舗	館全体の売上(客数)は前年同月比98%(93%)、食品103%(96%)、飲食91%(80%)、ファッション87%(96%)。前年はうるう年で1日多いため、同日対比では全体では前年とほぼ同様の結果となった。2月23日より茨城県の緊急事態宣言は解除となったが、依然としてファッション・雑貨・アミューズメント・レストランの売上は不調。家庭内消費品の購入のため不要不急ではないという意識から家族連れの顧客が多く客単価が上がっている。
	県南地区共同店舗	全体的に土日・祝日の集客に苦戦している。ファミリー層の出入りが相変わらず少なく、売上も厳しい。その中で、理美容・リラクゼーション・歯科医院等のサービス部門の売上が戻りつつある。文化品部門については、イベント未実施のため売上が大幅に減少。売上は前年同月比で、全体82.3%、衣服75.6%、文化品24.7%、食料品97.3%、飲食92.8%、サービス89.4%となった。
	クレジット	
	家電	顧客への巣ごもり消費商品、省エネ家電の魅力を訴求する等で店舗間格差有り。新型コロナウイルスにより訪問活動が行いづらいつ時期だが、顧客は「お得」の言葉には目を向けてくれる。省エネ+創エネ+蓄エネのスマートライフを勧めていきたい。
	石油	原油価格は前年同月より1バレル当たり約10ドル上がっている。しかし、コロナ禍で販売数量が減っていること等によりガソリンの販売価格は前年同月比で約7円下がっているため収益確保が難しい状況にある。県の緊急事態宣言が2月23日に解除されたが、今後景気の急回復は望めないで、厳しい状況が続くと思われる。
	農機具	
	中古自動車	販売台数は前年同月比52.4%と大きく減少し、販売価格も同93.0%と低下したため、売上は同48.7%と5割強の減少幅となった。また、1月も前年同月比で売上56.1%、販売台数68.2%、販売価格82.2%と大幅に落ち込んだが、2月はさらに下回る結果となった。県の緊急事態宣言により行動が制限されたことが最大の要因だと考えられるが、流通車不足も依然続いており、販売・仕入ともに厳しい環境下に置かれている。
	飲食品	新型コロナウイルス感染拡大の中で食品流通業として食のライフラインを担っているため、組合員の売上は比較的好調に推移してきた。しかし、2月は新型コロナウイルス感染拡大の影響なのか県南地域は前年同月の売上を上回るが、県北方面は横這いもしくは微減。全体としては前年同月の売上を確保している。
商店街	水戸	
	筑西	新型コロナウイルス感染拡大の影響により売上減少。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が103.4%、軽自動車が99.9%となり、普通車は増加、軽自動車は微減となった。
	ホテル・旅館	首都圏の緊急事態宣言継続や県独自の緊急事態宣言により顧客が大幅に減少し、宿泊者が見込めない状況。期間を設定しての休館や週末のみ営業する施設が多数。売上は前年同月比で20%台の施設がほとんどである。
建設業	総合	次年度施工可能な繰越工事が発注となった。少額の工事が多く出ているため小規模業者も工事の受注が可能になった。大変良い状況である。物件数が多いことが分かればダンピングによる受注競争も減ると思われる。
	電気工事	
	管工事	
	交通安全施設	
	型枠工事	新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないが、前年同月と変化がない状況が続いている。しかし、今月に入り若干工事量の少ない地域や会社が出てきている。
運輸業	貨物軽自動車運送	組合員数は118名、車輛台数は151台で1月と比較して1名増加、1台増加した。また、全国連合会の組合員数は7,509名、車輛台数は8,931台で1月と比較して31名減少、32台減少であった。また、1月の運送売上は前年同月比59.5%となった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の動向については、引き続き出荷物量は低調となり売上高も減少している。また、燃料価格もさらに高くなり、収益は益々厳しい。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
令和3年2月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	その他の非製造業	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	学校給食におけるパン給食回数増の要望。
	酒	酒造業者はコロナ禍により重大な経済的被害を受けており、今後の経営存続に懸念が生じている。行政への再度の持続化給付金等の財務支援のご検討をお願いしたい。
	納豆	今のまま年内続くと、納豆関連業者は大変厳しくなるので何とか考えてほしいです。
小売業	県央地区共同店舗	1. 4月より総額表示の行政指示により、表示方法など店舗にて混乱が生じている。 2. コロナ禍による、消毒液などの消耗品経費もかさみ、大きな負担となっている。今後もいつまで続くかわからない状況の中で、感染リスクが高い施設なので、コロナに関する感染防止対策費用など継続的な支援（補助金）を希望する。
	石油	・新型コロナウイルス感染症による経営環境悪化に対する補償 ・揮発油税に課税している二重課税の廃止
建設業	総合	早期発注に謝意を述べたい。また学校関係の改修工事も早期発注（夏休みの時期に工事が実施できるようできれば6月下旬の入札が望ましいです）をお願いしたい。宜しくお願い申し上げます。
	型枠工事	毎年の傾向だが、新年度が始まるまでの期間は工事の発注が少ないので、なるべく1年を通して発注量が平準化できるような対策をお願いします。

月次景況調査 2月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	2月	1月	前月比	2月	1月	前月比	2月	1月	前月比
景 況	▲ 32.0	▲ 52.0	20.0	▲ 38.5	▲ 57.7	19.2	▲ 25.0	▲ 45.8	20.8
売 上 高	▲ 30.0	▲ 34.0	4.0	▲ 34.6	▲ 34.6	0.0	▲ 25.0	▲ 33.3	8.3
収 益 状 況	▲ 44.0	▲ 50.0	6.0	▲ 50.0	▲ 57.7	7.7	▲ 37.5	▲ 41.7	4.2
販 売 価 格	▲ 12.0	▲ 14.0	2.0	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 8.3	▲ 20.8	12.5
取 引 条 件	▲ 18.0	▲ 22.0	4.0	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 12.5	▲ 29.2	16.7

# 中小企業月次景況調査(令和3年2月)DI値(前年同月比)

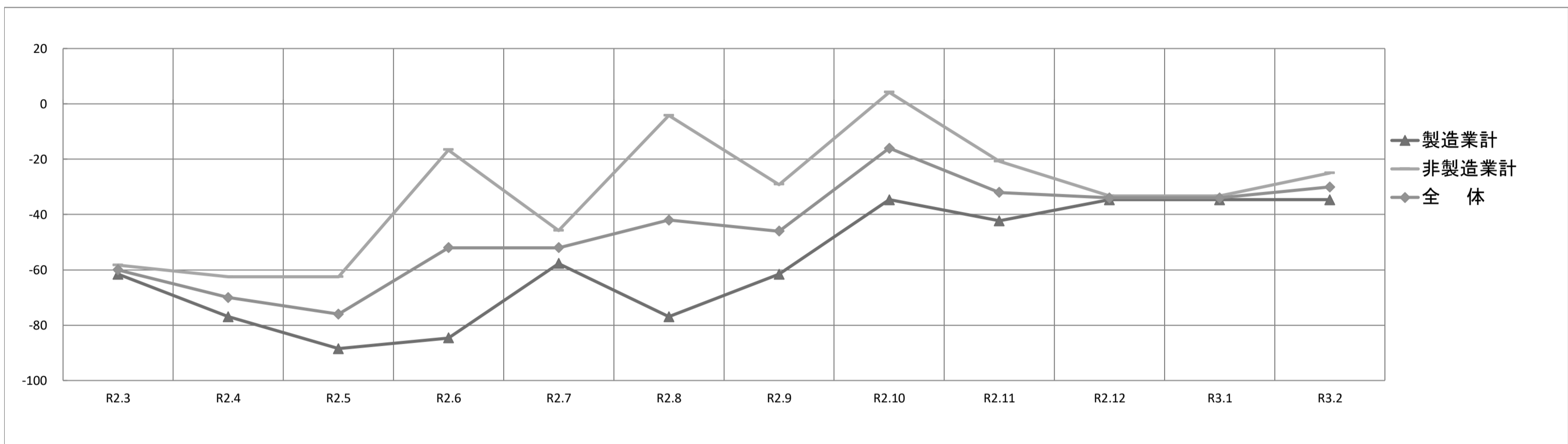
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況																		
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)																			
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数												
製造業	食料品	△ 66.7	0	2	4	6	16.7	1	5	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	0	6	0	6	△ 66.7	0	2	4	6	△ 66.7	0	2	4	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 50.0	0	3	3	6					
	繊維工業	△ 100.0	0	0	3	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3					
	木材・木製品	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3					
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	印刷	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1					
	窯業・土石製品	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	0	3	2	5					
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	一般機器	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2					
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	輸送機器	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2					
製造業計	△ 34.6	2	13	11	26	△ 3.8	1	23	2	26	△ 15.4	0	22	4	26	△ 23.1	0	20	6	26	△ 50.0	0	13	13	26	△ 38.5	0	16	10	26	△ 34.6	1	15	10	26	△ 15.4	2	18	6	26	△ 38.5	1	14	11	26						
非製造業	卸売業	0.0	2	0	2	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	25.0	1	3	0	4																									
	小売業 (商店街含む)	△ 36.4	3	1	7	11	9.1	3	6	2	11	△ 9.1	1	8	2	11	△ 18.2	1	7	3	11	△ 63.6	1	2	8	11	△ 45.5	0	6	5	11																				
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2						△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2																				
	建設業	20.0	1	4	0	5						0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5																				
	運輸業	△ 100.0	0	0	2	2						0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2																				
	非製造業計	△ 25.0	6	6	12	24	6.7	3	10	2	15	△ 8.3	1	20	3	24	△ 12.5	1	19	4	24	△ 37.5	2	11	11	24	△ 25.0	1	16	7	24																				
全体	△ 30.0	8	19	23	50	0.0	4	33	4	41	△ 12.0	1	42	7	50	△ 18.0	1	39	10	50	△ 44.0	2	24	24	50	△ 32.0	1	32	17	50	△ 34.6	1	15	10	26	△ 12.0	2	40	8	50	△ 32.0	4	26	20	50						

## D I 値推移表 (R2. 3月 ~ R3. 2月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	R2. 3	R2. 4	R2. 5	R2. 6	R2. 7	R2. 8	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 60.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 90.0	▲ 55.0	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0
製造業計	▲ 61.5	▲ 76.9	▲ 88.5	▲ 84.6	▲ 57.7	▲ 76.9	▲ 61.5	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 34.6
卸売業	▲ 50.0	▲ 50.0	25.0	50.0	0.0	50.0	25.0	100.0	25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 63.6	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4
サービス業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 100.0	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 58.3	▲ 62.5	▲ 62.5	▲ 16.7	▲ 45.8	▲ 4.2	▲ 29.2	4.2	▲ 20.8	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 25.0
全体	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 76.0	▲ 52.0	▲ 52.0	▲ 42.0	▲ 46.0	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 34.0	▲ 30.0

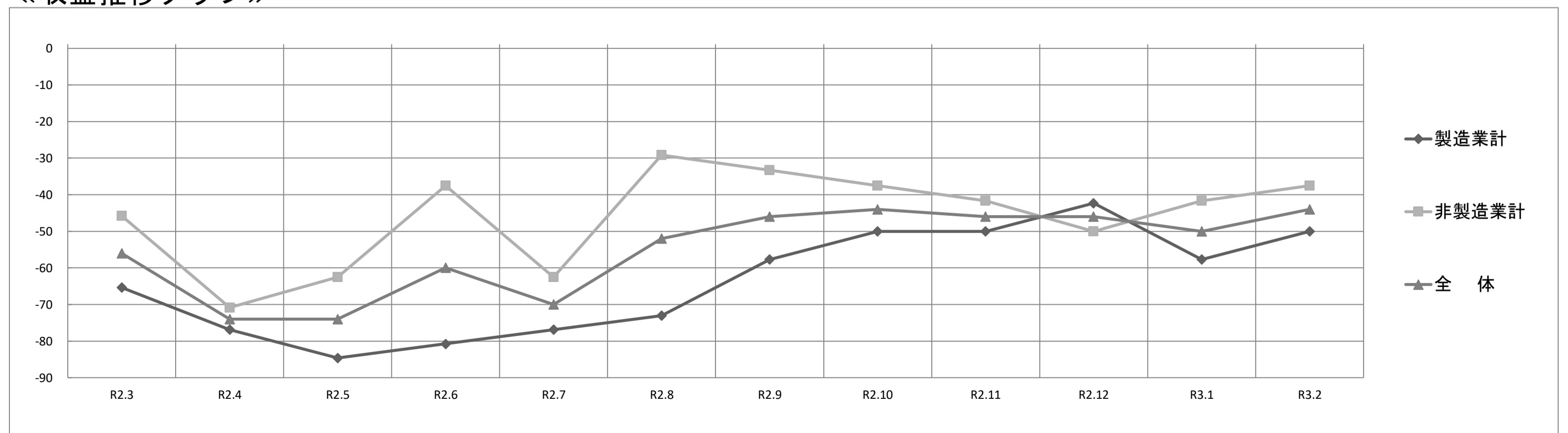
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	R2. 3	R2. 4	R2. 5	R2. 6	R2. 7	R2. 8	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 65.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 80.0	▲ 85.0	▲ 80.0	▲ 65.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 45.0
製造業計	▲ 65.4	▲ 76.9	▲ 84.6	▲ 80.8	▲ 76.9	▲ 73.1	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 42.3	▲ 57.7	▲ 50.0
卸売業	▲ 50.0	▲ 75.0	0.0	25.0	▲ 25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6
サービス業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 45.8	▲ 70.8	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 37.5
全体	▲ 56.0	▲ 74.0	▲ 74.0	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 52.0	▲ 46.0	▲ 44.0	▲ 46.0	▲ 46.0	▲ 50.0	▲ 44.0

### 《収益推移グラフ》



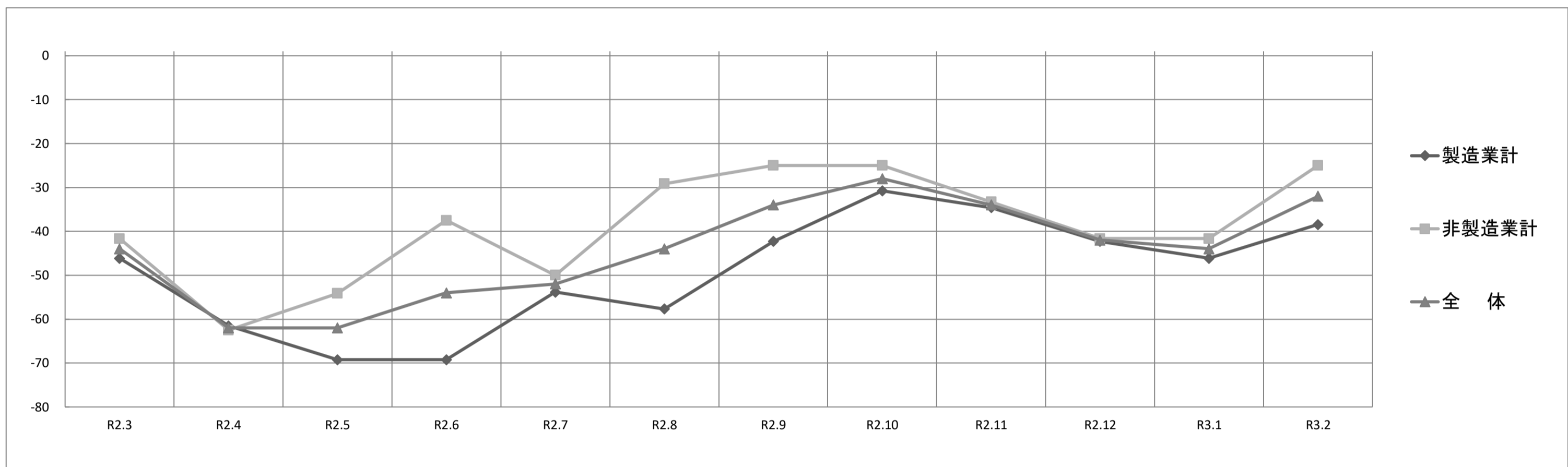


## D I 値推移表 (R2. 3月 ~ R3. 2月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	R2. 3	R2. 4	R2. 5	R2. 6	R2. 7	R2. 8	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 40.0	▲ 55.0	▲ 65.0	▲ 65.0	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 69.2	▲ 69.2	▲ 53.8	▲ 57.7	▲ 42.3	▲ 30.8	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 46.2	▲ 38.5
卸売業	▲ 25.0	▲ 75.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 45.5
サービス業	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 41.7	▲ 62.5	▲ 54.2	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 25.0
全体	▲ 44.0	▲ 62.0	▲ 62.0	▲ 54.0	▲ 52.0	▲ 44.0	▲ 34.0	▲ 28.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 44.0	▲ 32.0

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	R2. 3	R2. 4	R2. 5	R2. 6	R2. 7	R2. 8	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 55.0	▲ 85.0	▲ 85.0	▲ 80.0	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 25.0	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 55.0	▲ 35.0
製造業計	▲ 57.7	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 69.2	▲ 65.4	▲ 57.7	▲ 38.5	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 57.7	▲ 38.5
卸売業	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0
小売業(商店街含む)	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 72.7	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 45.5
サービス業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 62.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 54.2	▲ 45.8	▲ 25.0
全体	▲ 66.0	▲ 78.0	▲ 72.0	▲ 62.0	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 48.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 46.0	▲ 52.0	▲ 32.0

### 《景況推移グラフ》

